

「第2次豊橋市廃棄物総合計画 素案」についての意見募集結果

1. 意見募集の概要

- (1) 意見募集期間 令和3年1月29日(金)～令和3年3月1日(月)
- (2) 意見提出者数 1人(ホームページ 1人)
- (3) 意見件数 2件

2. 提出された意見の内容と豊橋市の考え方

寄せられた意見の内容及び意見に対する市の考え方は次のとおりです。

番号	頁	意見の内容	豊橋市の考え方
1	33	2030年最終処分量は目標値6,300トン ◇もっと減らせるのではないかと？	2030年度の最終処分量6,300トンは、ごみの排出量やリサイクル率が現状のまま推移した場合のものでありますが、目標値は6,200トンと定めております。この目標値は、計画に位置付ける更なるごみの発生・排出抑制とリサイクルを推進することで達成しようとするものであり、今後は、この目標達成に向け取組を推進していきたいと考えております。
2	33・46	南海トラフ地震・津波による災害ごみについて ◇既設建築物の耐震強化のいっそうの取り組みは当然だが、災害ごみの想定もここには明記すべき項目であると思う。そして、その後の復旧や復興にも大きな影響を与える災害ごみ。 どんなものが、どれくらいの量出て、それらをどう集め、どう処理をするのか、しっかり調査して明示してほしい。 最終処分量を減らし、災害ごみの収容スペースを確保。ごみによる沿岸の埋め立ては避けて欲しい。	災害ごみの想定については、「豊橋市災害廃棄物処理計画」という計画が別にあり、ごみの種類や発生量の推計、収集から処理に至るまで、その計画内に位置付けがあるため、廃棄物総合計画では詳細な記述をしていません。大規模災害により発生するごみは、リサイクルや焼却等により、最終処分量をできるだけ減らしたのちに、豊橋市最終処分場での処理や他地域での広域処理を想定しており、本市沿岸への埋立処理は想定していません。